

## 第8回 日・韓知的障害者サッカー交流大会を終えて

団長 原 信夫

第8回 日・韓知的障害者サッカー交流大会が、「北朝鮮と韓国首脳が会談、対決の歴史に終止符」の世界的ニュースが流れた2日後の、4月29日（日）に韓国の仁川広域市で開催されました。開会式に出席された仁川広域市選出の国会議員の方が、祝辞の中で「平和が訪れたその時にこの大会が開催されることを本当にうれしく思います。」と述べて下さいました。スポーツ交流は平和の象徴であることを改めて実感しました。

今回で4回目となる静岡県韓国遠征チームのメンバーは、19歳以下の若い選手の中から選抜した14人で、新社会人3人と特別支援学校高等部生徒11人でした。

交流試合は第2回大会以降続いている静岡県チームの連勝を絶対につなげるという強い思いを持って練習に励み、試合に臨みました。迎えた韓国仁川チームは、今年こそは絶対に勝つという意気込みを感じる鋭い攻撃を展開してきました。点を取ったら取られるの接戦となり、応援席の盛り上がりは凄いものでした。結果は3対2で静岡県チームが勝利を収めました。この勝利が選手一人ひとりの自信となり、静岡県の知的障害者サッカーの底上げにつながることは間違いないと思います。

選手同士の交流の方は、若い人には言葉の壁は無いのかと感心してしまうくらいすぐに打ち解けて、前日の歓迎会の時から肩を組み合って歌ったり、腕相撲で力比べをしたりして盛り上がっていました。試合が終わった後は更に親密さが増し、食事、観光、買い物も笑顔いっぱい楽しんでいました。

地元の広報誌の記者の方から、「今後の日・韓サッカー交流大会についてどのように考えていますか？」と質問されました。「静岡県では、若い10代の選手達が、日・韓サッカー交流大会の選手に選抜されることを目標にがんばっているのです、いつまでも続くことを願っています。」と答えました。相手があることなので、どのようになるかわかりませんが、ともかく節目となる10回大会（2020年）までは続けることを、お互いに確認しました。来年度の第9回大会は、韓国仁川チームが静岡県に来る番です。静岡県の西部地区を会場にして開催する予定です。

第8回 日・韓知的障害者サッカー交流大会開催にあたり、ご支援・ご協力をいただいた関係者の方々に感謝申し上げますと共に、今後ともご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます、ご報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

4月28日(土)

12:40 航空機移動

14:45 入国審査

15:00 バス移動

16:00 ミニゲーム(仁川南高校)

17:00 バス移動

17:30 チェックイン(ステラマリーナホテル)

18:30 レセプション

4月29日(日)

7:00 朝食

6:30 起床

8:30 バス移動

9:30 練習

11:00 開会式

11:45 公式試合

13:30 バス移動

14:30 昼食(サムギョブサル)

16:00 仁川卿校見学

16:30 仁川障害者国民センター見学

17:30 イー마트買い物

18:30 お別れ会

4月30日(月)

5:30 起床

6:30 バス移動

7:30 出国手続き

9:40 航空機移動

11:35 入国手続き

12:15 解散式





## 第8回日韓知的障がい者サッカーフェスティバル

監督 西村 拓

まず、今年もこの大会に選手、スタッフとともに参加できたことを非常に嬉しく思います。私が監督を務めて4回目の大会でしたが、今年の選手達は練習の様子からも例年に比べて大人しい選手が多い印象でした。結団式、行き飛行機内では緊張で一杯だった選手達も仁川広域市の皆様に温かく迎えていただいたおかげで、徐々に表情も和らぎ、歓迎会や試合後の昼食、文化体験では通訳、コーチが間に入らなくても選手同士で関わる様子が多くありました。こういったいつもと違う文化の中でたくさんの人と触れ合うことは、選手にとって非常に有意義で充実した交流となりました。

プレー面では、3月の初召集から4回しか練習ができなかった急造のチームでしたが、「チーム全員で声を出す。」ことや「開く、絞る」「サイドチェンジ」等のチームとしてのテーマの共通理解等、短い練習の中でも集中して取組み、韓国へと向かいました。試合では、幸先良く先制できたものの、年々技術やチーム力が高まってきている仁川広域市チームのパワーとスピードのある攻撃に押し込まれる非常に苦しい時間帯が続きました。そんな中でも、テーマであった声を掛け合うこと、絞ってゴール前を守ることをチームとして継続できたことが勝利へとつながったのだと思います。

帰りの飛行機の中では、早くも「来年もこのチームに選ばれて仁川チームと試合をしたい。もっと彼らと仲良くなりたい。」と来年に向けて意気込む声も聞かれました。選手達にはこの経験をもとに所属チームでサッカーだけでなく生活の中でも中心となつてがんばってくれることを期待します。

## 第8回日韓知的障がい者サッカーフェスティバル 選手感想

### 〇〇(愛鷹分校) GK

韓国代表の選手との交流はとても楽しく、皆さんとてもフレンドリーですぐに仲良くなれました。食事や買い物ときには、写真を撮ったりコミュニケーションを取ったりすることができました。

試合では、積極的に声を出したり失敗を恐れずチャレンジしたりしたことで思っていた以上のプレーができました。3対2で勝てたことも良い思い出になりました。韓国遠征では、荷物の準備や技術、メンタル面など自分がまだまだだということを感じました。

遠征に呼ばれていなければわからなかった自分の足りない部分をコーチの方々やチームメイトからのアドバイスを忘れずに日々のサッカーに励みたいです。

### 〇〇(沼津) FW

韓国遠征では、サッカーを楽しむことができました。それには理由があり、自分や仲間のプレーがうまくつなげたことや、言葉はわからなくても、韓国の皆さんが優しくしてくれたからです。そうやって楽しむことができずごうれしかったです。

今回は韓国遠征という貴重な経験をさせていただいて、日本にはない韓国の歴史を学ぶことができ、試合ではワンツープアスやアーリークロスなどを意識することができました。この大会で教わったことを学校でも活かせるようにします。

### 〇〇(沼津) DF

韓国遠征ではすごく疲れましたが、その分頑張ったし、楽しむことができました。試合では、前日の韓国料理が辛くてのどが痛かったけど、今まで練習で言われていた声を出すことを一番意識して、しっかり出すことができたと思います。ただ、まだパスやクリアなどダメな部分もあったので学校の部活でしっかりできるようにします。

また、韓国のメンバーの人たちがとても優しくて友好的だったのでとてもうれしかったです。言葉が全然わからないのにうまく接してくれたり焼肉を焼いてくれたり写真を一緒に撮ったりしてみんなが大好きになりました。翻訳機で「また会いたい。」と入れて見せてくれた時には本当にうれしかったです。外国があまり好きではなかった自分も「また韓国に来て会いたい。」と思いました。

### 〇〇(伊豆田方) FW

目標としていた「点を決める」は果たせなかったけれど、練習よりも本番の方が動くことができた。試合に勝利することができて良かった。

大会に向けての練習では、1回目では自分の足りないところやまだまだのもあったけど、2、3、4回目にはできなかったことができるようになったりまだまだだったところが少しだけできるようになったりしてよかった。これからも体力づくりをしていきたい。

試合以外のところでは、韓国のチームの選手とも仲良くなって良かったです。良い経験、思い出ができて良かったです。

### 〇〇(伊豆田方卒) DF

初めて韓国遠征に参加して、短い期間で自分たちの力を発揮して勝つことができたので良かったです。実際に韓国に行ってみて、韓国の文化が分かったり韓国の選手たちと仲良くなれたりしたことがすごく良い思い出になりました。

また来年も選ばれたら韓国の選手たちと試合をしたいと思いました。

#### 〇〇(清水) MF

試合に向けての練習で、ほかの学校の選手と仲良くなれて良かったです。韓国でも一緒に焼き肉を食べたり腕相撲をしたりして韓国の選手とも仲良くできてうれしかったです。

サッカーでは、もっとパスやトラップの正確性を高めたいと思いました。試合に向けてみんなで頑張った「声を出す」ところをもっと頑張って来年も選抜に選ばれて韓国チームと試合をしたいです。

#### 〇〇(南の丘分校) MF

今回の韓国遠征で僕はいろいろなことを学びました。例えば学校が違ったり日本と韓国で国が違ったりしてもサッカーをしながら仲良くなることができる友達の大切さを学ぶことができました。

試合では、目標にしていた「守備でも頑張る」ことができ試合にも勝つことができたので嬉しかったです。また選ばれるように頑張りたいです。

#### 〇〇(焼津分校) MF

僕は、韓国遠征に行くのが初めてなので、すごく緊張していました。でも、練習の時から周りの皆さんが優しく緊張がほぐれてサッカーができました。

試合では、みんなのおかげで勝つことができ良かったです。僕の目標がチームのために一点決めることだったので、一点決めることができ良かったです。でも僕だけの点ではなく、みんなで頑張って取った一点だと思います。監督たちも面白いことを言ったりサッカーを楽しませてくれたりしてありがとうございました。また来年選ばれたら仲良くなった韓国の選手たちとも遊びたいです。3日間ありがとうございました。これからも頑張ります。

#### 〇〇(焼津分校) MF

僕は、今回初めて韓国へ行きました。とても緊張しましたが、楽しくできました。試合については、ミーティングで聞いたことを頭に入れて臨みました。自分はまだ周りについていけないので、少しずつ試合の流れを覚え、これからの部活で体力面を戻して活躍できたらなと思います。これからも不安なことをプラスに変えて自信をつけて頑張っていきたいです。韓国の選手たちとの食事とても良い思い出になりました。

#### 〇〇(袋井) MF

僕は、今回初めて県選抜に選ばれ、韓国遠征に行きました。最初の練習では、うまくできるかどうか不安でした。でも、練習を重ねるごとに自分のやるべきことを明確にすることができ、練習に臨むことができました。本番では出場する時間は短かったですが、自分の目標に掲げたことをしっかりとやり切れたと思います。韓国の選手とも、たくさんコミュニケーションをとる事ができて楽しかったです。県選で覚えたことや大切なことを普段の部活等に生かしていきたいです。

#### 〇〇(袋井) DF

僕は、今回が初めての韓国遠征でした。行ってみたら、韓国の人たちは僕たちにとっても優しく、来年もまた選ばれて試合に出たいと思うようになりました。次に選ばれるように、足元の技術(トラップ、パス)と、今回教わった「ディレイ」を練習して、今回よりもっと良いプレーができるように頑張りたいです。また、周りを見てパスかドリブルの判断を早く、正確にできるように学校で練習していきます。

#### 〇〇(袋井) DF

今年の遠征では、自分のチームだけでなく韓国のチームの人たちとも昨年よりいろいろな人とふれあうことができました。

試合では、チームの大きな目標である「勝つ」を今年も達成することができて良かったです。途中でケガをしてしまった交代したときはすごく悔しかったですが、その後もみんなが頑張ってくれてみんなで勝つことができたので良かったです。

#### 〇〇(浜松) FW

遠征では、韓国の人たちと楽しくサッカーをすることができました。試合で一点決めることができて試合にも勝ったので嬉しかったです。

お昼ごはんのときに韓国の選手達と話をしました。すごく楽しく話すことができました。日本に帰るのでさびしくなるけれど、また皆さんに会えるように頑張ってサッカーの練習をします。

#### 〇〇(浜松学園卒業) MF キャプテン

僕は、静岡県チャレンジド選抜韓国遠征に参加して、とても良い経験ができました。今年も勝つことができて、とても楽しかったです。また、韓国のみなさんとプレーしたり交流ができたりしたこととても楽しかったです。

今回の遠征に向けての目標である、誰よりも声を出すことを意識してプレーに集中することができました。とても楽しかったです。